

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立宮西小学校	学校 No.	1
-------	-----------	--------	---

1 福祉教育の取り組み（目標・活動計画・推進体制）

- 目標
  - ・「福祉実践教室」を通して、福祉への関心を高める。
  - ・学んだことや考えたことを自らの生き方に生かすようにさせる。
- 活動計画
  - ① 福祉や障害について調べる。
  - ② 「福祉実践教室」で学ぶ。
  - ③ ふり返り、まとめる。
- 推進体制
  - 5年生の総合的な学習の時間として取り組み、学年全体で計画・実践をした。



【ガイドヘルプ】

2 福祉教育の具体的な活動の内容（活動の記録）

- ① 福祉とは何か、バリアフリーなど身近なものを手がかりにして考える。
  - ・福祉読本「ともに生きる」を利用して、福祉について学ぶ。
  - ・障がいとは何かを、障がいの種類などを視点にして理解する。
  - ・障がい者を助けるための方法について調べる。
- ② 福祉実践教室（1月20日）
  - ・全体講義として障がい者の方から話を聞く。
  - ・4つのテーマに分かれて話を聞き、体験活動をする。  
（車椅子体験、高齢者疑似体験、手話、ガイドヘルプ）
  - ・体験活動をして感じたことや考えさせられたことをふりかえり、まとめる。
- ③ ふり返りとまとめ
  - ・事前学習で調べたこと、実践教室で体験したことをもとに、障がいについての自分の考えをまとめ、意見交流をする。
  - ・障がいという視点から、学校内や学校の周りを見直し、共生のためにはどうあるべきかという視点から、実際に見て感じたことや考えたことをまとめる。
  - ・今後、自分ができることを考え、まとめ発表する。



【車椅子体験】



【手話】

3 福祉教育の成果と今後の課題

福祉実践教室では、子どもたちが実際に体験することで、事前に学んだ知識をより実質的なものとして捉えることができた。また、全体講義の話や車椅子、高齢者疑似体験、手話、ガイドヘルプの体験から障がいを身近なものとしてとらえ、福祉の大切さを感じることができた。そして、障がいがある人への対応を学び、今後の実践へのよい方針となった。


1月の福祉実践教室に向けて、総合的な学習の時間に福祉読本「ともに生きる」を使って学習をした。事前学習を行ってから、福祉実践教室に臨んだことは効果的であった。

しかし、福祉や障がいがある方への対応を常に意識させていくことは難しい。また、手助けをする方法を知ることができても、なかなか取り組むことができないと思われる。思いやりや共生の気持ちを継続させていけるように授業や学校生活の中で機会をつくり、年間を通して意識させていきたい。



【高齢者疑似体験】

## 令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立貴船小学校	学校 No.	2
<p><b>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</b></p> <p>本校では、「心身ともに健康で、正しい判断力をもとに、勇気と思いやりを持ち、夢の実現に向けて自ら学び行動できる児童の育成」を教育目標に、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざしている。福祉教育では、社会福祉への関心と理解を深め、さまざまな体験活動や交流を通して「福祉の心」を育てることをねらいとし実践活動を行った。</p> <p><b>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</b></p> <p><b>(1) 5年生「福祉」についての学習</b></p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、福祉実践教室が中止となったが、5年生が事前学習として、副読本を利用して、点字や手話、車いす、ヘルプマークについて学んだ。みんなが過ごしやすい町や学校にするために、自分たちには何ができるかを話し合った。</p> <p><b>(2) 挨拶運動</b></p> <p>今年度も昨年度に引き続き、地域や中学校区で交流しながらの挨拶運動は実施できなかった。しかし、挨拶で人と人とのつながりを持てるよう、6年生が中心となって挨拶を呼びかける取り組みを行った。声を出しての挨拶だけでなく、お辞儀で挨拶や感謝の気持ちを表すことも大切にして活動を進め、見守りボランティアなどの地域の方々、友達などの周りの人々への挨拶の習慣と思いやりの心を育てた。</p>  <p><b>(3) 感謝の手紙</b></p> <p>毎年1年生が行うお年寄りの方を招いての昔遊びの会が、今年度も実施できず、地域の方との貴重な交流の場が持てなかった。代わりに、毎日お世話になっている「見守り隊」の方へ、1・2年生がお礼の手紙を書いて届ける活動を行った。自分のことばで手紙を書くことで、多くの方々に支えていただいていることに気付き、改めて感謝の気持ちを持つことができた。</p> <p><b>3. 福祉教育の成果と今後の課題</b></p> <p>今年度も、多くの活動や体験が中止となった。しかし、限られた活動の中でも、いろいろな立場・状況の人がいることや、誰もが一人ではなく共に生きていることを学ぶことができた。来年度以降も学び方を工夫し、子どもたちが、社会の一員として社会のために行動していこうとする態度や意識を高めていきたい。</p>			

令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

No.3

学 校 名	一宮市立神山小学校	委嘱年度	令和3年度
-------	-----------	------	-------

1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

(1) 目 標

福祉に関する実践学習の機会を提供し、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア、社会連帯の精神を養うとともに、地域社会への連帯を深めることを目的とする。

(2) 計 画

- ・奉仕活動への参加
- ・赤十字活動への参加
- ・各種募金活動
- ・あいさつ運動
- ・福祉実践教室
- ・ペットボトルのキャップの回収

(3) 推進体制

計画に該当する学年または児童会・委員会で計画的・具体的に推進する。

2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

(1) 体験活動

①校内清掃活動

神山小おやじの会と協力し、除草やごみ拾い、排水路の掃除などの校内清掃活動に取り組んだ。おやじの会会員家族を中心に児童も参加し、地域社会と学校が連帯した活動を体験することができた。

(2) 実践活動

①福祉実践教室

5年生が視覚障害者ガイドヘルプ・手話・点字・車椅子等の活動を通し、体の不自由な方への理解を深めることができた。児童からは、「オリンピックの中継で見た手話のことがよくわかった」「見えないことは不安だから、そばに寄り添うことが大切だとわかった」といった声が聞かれた。

②国際社会への貢献

国際交流委員会がペットボトルのキャップ回収をよびかけて集めている。これらをプラスチック再生業者に搬入することで、NPO法人「世界の子どもにワクチンを」の活動に参加した。今年度は33人分のワクチンとなった。

③卒業式に向けた花の栽培活動

卒業式の会場に飾る花を育てる活動に取り組んだ。6年生のために育てる活動であることを意識させて取り組んだ。その結果、寒さで成長しない花の様子を心配する等、6年生のためにきれいな花を咲かせようという気持ちで積極的に取り組む姿が見られ、奉仕の精神を養うことができた。

(3) 活動の広がり

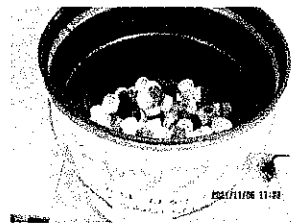
あいさつ運動では代表委員会の児童が中心となって活動している。本年度も、コロナ禍の中で感染症対策に配慮した内容が企画された。その結果、大きな声を出さなくても自分の気持ちをしっかりと相手に伝える方法とあいさつの大切さを知ることができた様子であった。あいさつ運動が終わっても、あいさつや会釈に積極的に取り組む姿が見られた。

3. 福祉教育の成果と今後の課題

昨年度は実施できなかった福祉実践教室が本年度は実施でき、改めて、福祉教育における体験活動の効果を実感した。一方、市内の感染状況の悪化により、計画されていた保護者とともに取り組む奉仕活動が実施直前で中止になるなど、活動に取り組むことの難しさを感じた年度であった。今年度のあいさつ運動のように、コロナ禍でも効果の上がる取組を企画・実施していくことが今後の課題である。



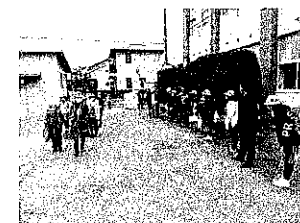
【福祉実践教室の様子】



【キャップ集めの様子】



【栽培活動の様子】



【あいさつ運動の様子】

# 令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立大志小学校	学校 No	4
-----	-----------	-------	---

## 1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

### (1) 目標

- ・福祉実践教室を通して、福祉への関心を高める。
- ・地域社会で「ともに生きる」明るい社会をみんなの手で作り出そうとする気持ちを育てる。
- ・調べ学習を通して、お年寄りや障害のある人に対する理解を深める。
- ・自分たちに何ができるかを考え、実践することで豊かな心を育む。

### (2) 計画

- ・福祉実践教室を通して、福祉への関心を高める。
- ・人権週間中の活動を通して、お互いを大切にする心を育む。
- ・運動会や大志っ子フェスティバルにお年寄りを招待する。
- ・あいさつ運動や募金活動に取り組む。

### (3) 推進体制

校長（教頭）－校務主任－全職員

## 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動記録）

### ○福祉実践教室

- ・視覚障がい者ガイドヘルプと手話講習会を受講した。（4年生）

（カラーコーンで、ガイドヘルプのコースを設置した。）



【ガイドヘルプの様子】



【手話講習会の様子】

### ○人権週間での活動

- ・校長講話、ふわふわ言葉集め、人権標語募集

### ○運動会・作品展

- ・カラーコーンを使い、ソーシャルディスタンスの確保周知を行った。

### ○ユニバーサルデザインについての学習（4年生）

- ・保健体育の授業で、公共施設のユニバーサルデザインについて学習した。

### ○あいさつ運動・募金運動

- ・児童会が中心となり、あいさつ運動や赤い羽根募金を呼びかけ、実施した。

## 3. 福祉教育の成果と今後の課題

昨年度実施できなかった福祉実践教室を実施することができた。自分自身で体験することによって障がいのある人に対して自分たちにどのようなことができるのかを認識させることができた。まだまだ、感染がおさまらない中ではあるが、ガイドヘルプや車いすの介助をする際に、今まで以上に気をつけていかなければならないことも想定して実践できるとよい。

人権週間のときに行ったふわふわ言葉集めでは、各学年の廊下に掲示したふわふわの木にたくさんのふわふわ言葉が集まった。人権週間が終わっても常にふわふわ言葉を使うことを子どもたちに継続して意識させていきたい。

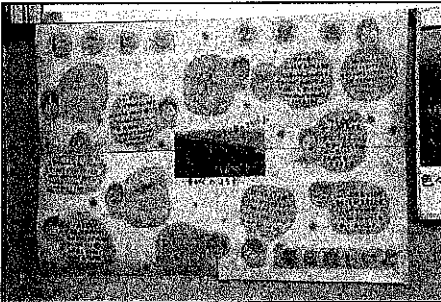

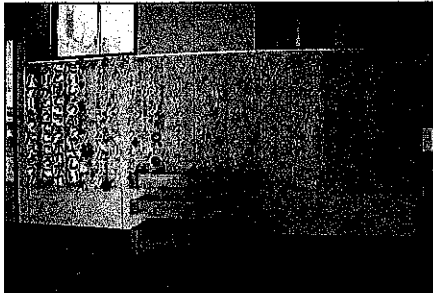
## 令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立向山小学校	学校No.	5
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標</p> <p>①縦割り班活動を通して低学年を思いやり、優しい気持ちを育てる。</p> <p>②社会福祉体験を通して障がいのある人たちや高齢者の存在に関心を持ち、その暮らしの実際に気づかせ、思いやりの心を育てる。</p> <p>③地域社会のために自分たちにできることを考え、役立とうとする態度を育てる。</p> <p>（2）計画</p> <p>①縦割り班活動（通年）</p> <p>②福祉実践教室（10月）、</p> <p>③募金活動（11月）</p> <p>（3）推進体制</p> <p>①全校で縦割り班活動を行い、協力と思いやりの心を育てる。</p> <p>②5年生の総合的な学習として取り組み、学年全体で計画・実践する。</p> <p>③児童会を中心に活動と呼びかけ、社会に役立とうとする姿勢を育てる。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）縦割り班活動</p> <p>1年生から6年生まででペア学年を構成した「縦割り班活動」を行った。縦割り班ごとに遊ぶ「ふれあい遊び」では、6年生がすべての学年にとって、分かりやすく、楽しめる遊びを学期に一度、計画し、実施をした。その他の活動として、ペア学年で、鉢に花を植え、一緒に花を育てる活動も行った。</p> <p>（2）福祉実践教室</p> <p>事前に福祉についての学習を行い、10月に福祉実践教室を行った。「車いす体験」「視覚障害者ガイドヘルプ」「点字体験」「手話体験」について体験をした。学級では、それぞれが学んだことを児童間で交流した。</p> <p>（3）募金活動</p> <p>児童会の企画で、11月に「赤い羽根募金」を行った。募金がどのようなことに使われ、どんな人たちの役に立つかを紹介したことで、積極的な呼びかけができた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>縦割り班活動では、一人一人がそれぞれの立場を意識し、お互いを思いやることができた。また、福祉実践教室では、実際に体験することで、生活することの大変さを改めて感じることで、相手の立場を考え、どう行動するべきかを考えるきっかけとなった。さらに、募金活動に積極的に参加する中で、社会の一員として、自分ができることを意識させることができた。</p> <p>しかし、感染予防対策のため、一昨年度まで活動していた児童会を中心としたあいさつ運動について行うことが難しかった。</p> <p>今後、新しい取り組み方について自分たちで考え、行動できる児童を育てる実践を進めていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 令和 3 年度 一宮社会福祉推進校実践活動報告書

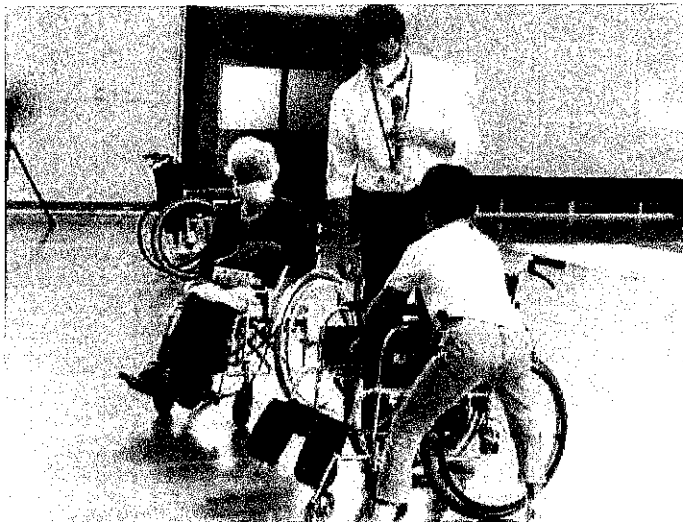
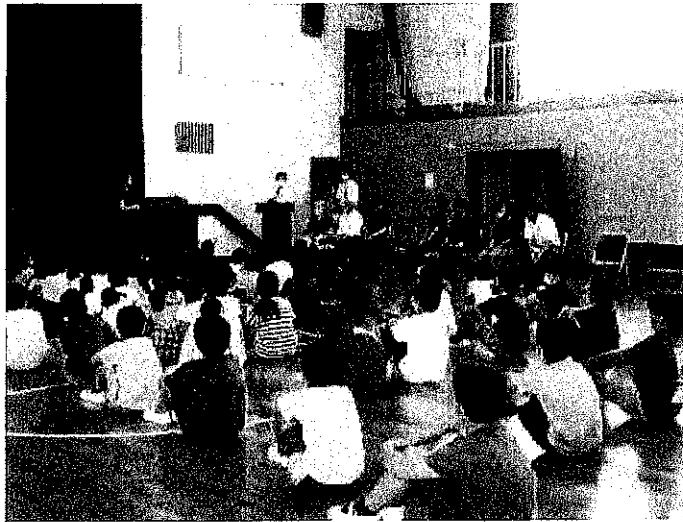
学 校 名	葉 栗 小 学 校	学校No.	6
<b>1 福祉教育の取り組み</b>			
本校では、ここに示す児童の育成のために重要な役割を果たすものとして、福祉教育を位置付けている。 ○ 差別や偏見を許さない子 ○ 自他を大切にし、ともに高め合っている子		発達段階におけるめあて	
		低学年	友だちとなかよくできる葉栗の子
		中学年	友だちのよいところを見つける葉栗の子
		高学年	友だちの気持ちが分かる葉栗の子
<b>2 福祉教育の具体的活動の内容</b>			
<b>(1) 一宮特別支援学校との交流活動（年間）</b>			
一宮特別支援学校との交流は、本校の教育活動の特色の一つである。例年1・2学期は特別支援学校の子どもたちを迎え、学年ごとに、歌や楽器の演奏をしたり、ゲームをしたりしながら一緒に楽しい時間を過ごしている。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、作品での交流や配信での交流会を行った。今まで伝承してきた、互いの交流関係を大切にしながら、会の在り方を模索し、活動が継続していけるようにしていきたい。			
		一宮特別支援学校との作品交流	
<b>(2) なかよし集会（10月）</b>			
異学年集団での活動を通して、互いに相手の立場を考えたり、思いやりある温かい人間関係をつくるため、1・6年生、2・5年生、3・4年生でペア学年を組織している。4月のなかよし遠足、11月には、児童会と代表委員会が計画したレクリエーションゲームを、感染対策を取りながら実施した。活動をする中で、お互いの交流を深めることができた。			
<b>(3) 人権に関する取組（10月・12月）</b>			
差別や偏見のない子をめざし、毎年人権週間を設け、取り組んでいる。10月にはいじめ防止標語コンテストを実施し、児童の作った標語を掲示した。 12月には、児童会と代表委員会が全校放送で発信したり、各学級で、普段使っている言葉遣いについて見つめ直したりした。これらの活動を通して、相手を思いやる行動の大切さについて考えを深めることができた。			
		人権に関する取組	
<b>3 福祉教育の成果と今後の課題</b>			
今年度も、新型コロナウイルスの影響で、全校児童や学年で集まる機会を持つことが難しく、会の在り方を考えることが多かった。特別支援学校交流や他学年児童との交流を通して、相手を思いやって行動する児童の姿が増えてきた。今後は、自分のできることを主体的に考え、よりよく共生するために、自分のできることから実践しようとする姿勢を育てていきたい。			

## 令和 3 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

No. 7

学 校 名	一 宮 市 立 西 成 小 学 校	委 嘱 年 度	令 和 3 年 度
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標・・・障害のある人々や高齢者との交流を通して、お互いの良さを認めあい、心豊かな生活ができるようにする。</li> <li>・ 計画・・・学期に 1 回の一宮東特別支援学校との交流活動 福祉実践教室の体験活動 見守り隊お礼の会での感謝の手紙の作成 敬老の日に地域の老人にあいさつや励ましの手紙を作成 「福祉とボランティア活動展」への参加</li> <li>・ 推進体制・・・社会福祉推進担当者会を組織し、各計画を具体的に推進する。</li> </ul> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生」教育助産師グループOHANAによる「いのちの授業」を実施した。</li> <li>・ 「見守り隊お礼の会」で、見守ってくださる方々に感謝の手紙を送った。</li> <li>・ 赤い羽根の募金活動を行った。</li> <li>・ 発展途上国へワクチンを送るためのエコキャップ回収活動を行った。</li> <li>・ 人権標語を募集し、人権について考えさせ、人権尊重の心を育成した。</li> <li>・ 5年生が福祉実践教室を行い、車いすや手話の体験活動を行った。</li> <li>・ 一宮東特別支援学校の児童と互いの学校を訪問し合う。【中止】作品交換をして、楽しく交流活動を実施した。【交流活動は画像データ交換で実施】</li> <li>・ 地域のお年寄りや独居老人へ手紙を送った。【中止】</li> <li>・ 運動会で敬老席を設けた。【中止】</li> </ul> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分と同年代の特別支援学校の友だちに接する中で、思いやりの心を育成し、障害を持っている人の大変さを理解することができた。</li> <li>・ 体験を通して障害を持っている人とのコミュニケーションの方法を知り、障害者への理解を深めることができた。</li> <li>・ 敬老会にてお年寄りへ手紙を送ったり、独居老人へ手紙を送ったりする活動を通して、高齢化社会に対する基礎的理解を深めさせた。</li> <li>・ 福祉に関する募金活動や支援活動を通して、支援を必要とする人についての理解を深めた。</li> <li>・ 人権標語の募集の取り組みにより、共感し合って温かい人間関係をつくることの大切さを考えさせることができた。</li> <li>・ 人権に配慮した情報モラル教育、ネットにおける個人情報の流出、プライバシーの侵害について考えさせ、情報の収集・発信における個人の責任を理解させた。</li> <li>・ いじめを絶対に発生させないための、心の教育を推進し、保護者も含めた教育相談体制の充実を図った。</li> </ul>			

## 10/8 5年生 福祉実践教室



今日は、福祉実践教室がありました。  
講師の方をお招きし、グループごとで車いすと手話の体験を行いました。  
子どもたちは、講師の方のお話を熱心に聞きっていました。  
実際に体験したことで、障がいのある方の苦労や気持ちを考えることができましたね！！  
福祉実践教室を通して、子どもたちの福祉に対する考えや興味もさらに理解を深めることができました。  
講師の皆さま、本当にありがとうございました。

【5年の部屋】 2021-10-10 13:12 up!



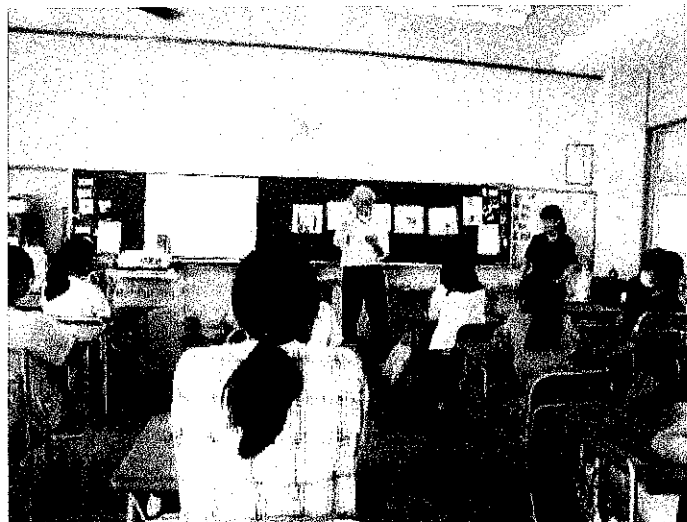
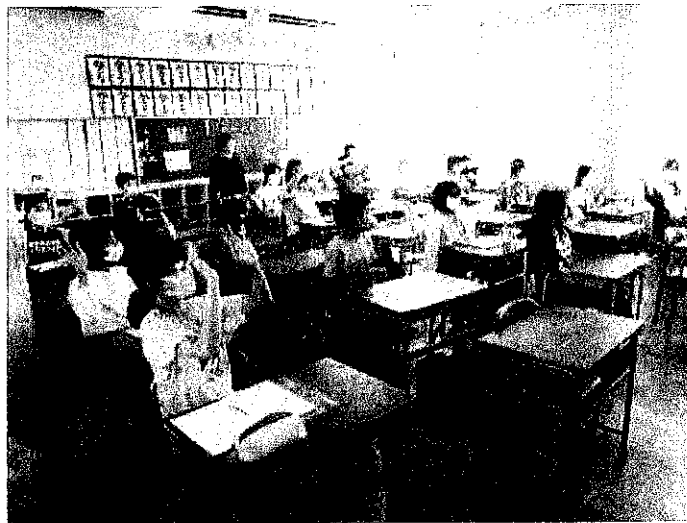
### 10/8 5年生 福祉実践教室（車いす体験）



車いす体験の様子です。

【5年の部屋】 2021-10-10 13:12 up!

## 10/8 5年生 福祉実践教室（手話体験）



手話体験では、初めに聴覚障がい者の方の生活について聞き、コミュニケーションをとるときに、どうすればよいかを教えてくださいました。「身振り」や「空書き」など、私たちでもできる方法がありましたね。最後に、手話を使って挨拶の仕方を教えてくださいました。下校のときも、何度も練習していました。

今日の体験で、これからどんなことができそうですか。素晴らしい話を聞いたので、ぜひ、みんなのこれからは活かされて欲しいと思います。

【5年の部屋】 2021-10-10 13:12 up!

## 令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立瀬部小学校	学校No.	8
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>1学期は、冊子やインターネットを使い、「福祉とは何か?」「自分たちにできることはないか?」について調べ学習を行った。2学期（10月）は、福祉実践教室を行った。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>福祉実践教室では、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講師の方による講話</li><li>・車いす体験</li><li>・手話での交流</li><li>・点字うち体験</li></ul> <p>を行った。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>調べ学習では、自分たちの身近なところにも助けを必要としている人が多くたり、助けになるものや施設がたくさんあったりすることが分かった。</p> <p>福祉実践教室では、講師の方と交流することで、講師の方が前向きに生活している姿を見て、どの人も幸せにくらせることが大切だと実感できた児童が多かった。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 令和3年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

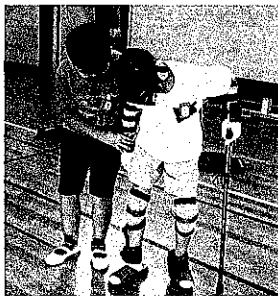
学 校 名	一宮市立赤見小学校	学校 No.	9
-------	-----------	--------	---

## 1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

- （目 標） ・ 障害をもっている人が社会の発展に平等に参加し、平等に利益を受けられる社会の大切さについて理解を図る。  
 ・ ボランティア活動を計画・実践する中で、自分を生かしながら、他の人（友だち・先生・お年寄り・保護者・地域の方）とともに、よりよく生きていこうとする態度や自覚を育てる。
- （計 画） ・ 9月・・・・・・福祉実践教室  
 ・ 11月・・・・・・人権週間、福祉実践教室
- （推進体制） ・ 5年生の“総合的な学習の時間”を利用する。  
 ・ 11月の“人権週間”では、全校体制で取り組む。

## 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

- 5月 《全校児童》 緑の羽根募金活動  
 9月 《5年児童》 福祉実践教室（点字体験、高齢者疑似体験）  
 10月 《全校児童》 赤い羽根募金活動  
 11月 《全校児童》 校長による人権講話（人権週間）  
 《5年児童》 福祉実践教室（車椅子体験、ガイドヘルプ体験）  
 1月 《5年児童》 福祉について学んだことを発表（学習発表会）  
 《全校児童》 書き損じハガキ収集  
 通年 《全校児童》 あいさつ運動、ベルマーク収集  
 地域の方とさつまいもの栽培



高齢者疑似体験



車椅子体験



さつまいもの収穫

## 3. 福祉教育の成果と今後の課題

今年度はコロナウイルス感染拡大防止対策をしっかり行い、5年生の総合的な学習の時間において、「福祉実践教室」を行った。車椅子体験、高齢者疑似体験、ガイドヘルプ体験を行うことにより、自分たちの生活と障害をもっている方との生活の違いを知り、障害をもった方に対しどのような手助けができるかについて考えることができた。今後は、児童一人一人の意識をさらに高め、日常生活の中で実践していくことができる力を身に付けさせていきたい。感染拡大防止対策がとられる中でも、児童一人一人の意識をさらに高め、日常生活の中で実践していくことができる力を身に付けられるよう、今できることは何かを児童とともに考え、計画的に実践していきたい。

## 令和 3 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立浅野小学校	学校NO.	10
<p><b>1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</b></p> <p>教育活動全体を通して、福祉教育の充実を目指し、地域の特色を生かした体験的な活動を推進する。また、社会福祉への理解と関心を高めボランティア・社会連帯の精神を養う。障害を理解するための福祉実践教室を開催し、児童に体験を通して、障害を理解させ、福祉の心を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5年生の福祉実践教室での体験活動</li> <li>○全学年による各種募金活動・あいさつ運動</li> </ul> <p><b>2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5年生は、福祉実践教室で車いす体験・点字・ガイドヘルプの講習を受けた。</li> <li>○募金活動では、児童会が中心となって、緑の羽根・赤い羽根の募金をした。</li> <li>○児童会が中心となって「あいさつ運動」に取り組んだ。</li> <li>○校区に在住の独居老人に5・6年生がはがきを出し、地域の独居老人との交流を図った。</li> <li>○福祉に関して、タブレット端末を用いて調べ学習を行った。</li> </ul> <p><b>3 福祉教育の成果と今後の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉実践教室での車いす体験・点字・ガイドヘルプの講座を通して、障害者の気持ちを理解することができた。</li> <li>○今後の課題 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で様々な行事が中止あるいは形を大きく変えて行わなければならなかった。来年度も感染拡大防止策をとりながら、できることを行っていきたい。</li> <li>○今年度購入した車いすを実際にけが等をした児童のために活用するとともに、福祉実践教室でも活用をしていきたい。</li> </ul>			